

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	放課後等デイサービス 青空		
○保護者評価実施期間		2024年 11月 1日	～ 2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間		2024年 11月 1日	～ 2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 19日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	設備環境として、子どもたちは心地よく過ごしてくれている	個々の活動内容によって、スペースが十分に確保できるように物の配置などを考慮している。	引き続き、整理整頓を子どもたちと一緒に実施していく、心地の良い空間、活動がしやすい空間作りを行っていく。
2	子どもたちの「やってみたい・やりたい事」が実現しやすい	話し合う時間を作っている点。 特に午前から活動がある長期休暇では積極的に子どもたちの意見を取り入れている。	実現するためには、準備が必要。そのためにも時間をつくりながら、子どもたちと一緒に進めていくようとする。
3	職員の話し合う時間を確保している	職員個々の情報や意見が話しやすいように、職場環境作りを行っている。	より支援内容などの必要な情報共有が質の高いものになるよう個々の意識を高められるような独自の学習会や研修を取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	丁寧な保護者への情報発信や本来伝えておかなければいけない事案や共有すべき事項が伝えられていない	情報発信として、お便りや提供記録という形で伝えているが、防犯、防災、安全計画等、事業所の状況を伝える事項が後回しになってしまい、丁寧な情報が伝えきれずにいる。	安全・安心できる居場所として、保護者にも知ってもらうべきことや内容を今一度整理して、発信していくようにする
2	支援プログラム作成や支援計画作成や見直し等、根幹となる要素の考えが弱い	様々な要件や案件を進めていく中で、限られた時間ですべてを決めていこうとする環境がある。	丁寧な支援・スマールステップを忘れずに、数日に分けてでも支援目標や次に進む為の目標作りができる時間と環境を設けていく。
3	地域交流	子どもたちの様子をみながら、進めようという段階で実行・行動できていない。	地域の方を招待してできるイベント（エイサー舞踊を披露するなど）や季節行事の招待・他事業所との交流を計画していく。地域の協議会などでもこの事案を協議共有していき、同年代との交流が図れないか、今後進めていきたい。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		放課後等デイサービス 青空						
		公表日 2025年1月10日						
		利用児童数			25名		回収数 13名	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 9	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 3	ご意見 行ったことがないのでわからないです	情報の発信や、面談や保護者会への参加できる機会を増やしていく、保護者への安心できるように進めています
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	はい 10	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 2		その日の利用児童の様子を見ながら安心安全な職員配置を整えていく様に今後も続けていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	はい 8	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 4		設備面では手すりやスロープ、多目的トイレが設置されています。活動しやすい空間作りを今後も維持していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	はい 9	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 4		衛生面でも、引き続き子どもたちと一緒にみんなが使いやすく・心地の良い居場所でいられるように協力して進めています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	はい 10	どちらともいえない 2	いいえ 0	わからない 1		様々な視点から子どもの特性を把握し、支援につながるような体制作りを研修などを通して研鑽していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	はい 9	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 3		次年度から事業所全体としての支援計画を公表させていただきます。個々の支援計画とのつながりも合わせて、以後の評価となれたらと思います。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	はい 11	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 2		保護者の方の願いを聴きながら、青空での活動経験を将来に繋げてもらえる場所とその子に応じた安心できる居場所になれるよう目標を作っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	はい 11	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 1	次年度から変わる新様式を見て、理解できるようにしたいと思います。	今年度から随時、計画書様式を変更した用紙で進めています。面談等でも今後は支援内容の確認や細やかな支援計画を共有しあえるように進めています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	はい 11	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 1		その日の活動をより具体的にお伝えしていき、目標や課題の変化が必要かを共有できる様に進めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	はい 11	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 1		定期活動や普段での放課後活動でも色々な経験を積んでもらえる支援と好きな事を思いっきり仲間と活動できる居場所作りと支援を進めています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	はい 7	どちらともいえない 3	いいえ 0	わからない 0	無理にしなくてもいいと思います。	現在地域学童や児童館交流は実施できていませんが、中高生主体とする青空でも同年代交流ができる機会づくりを那賀地域全体で進められるように協議を進めている所です。
保護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	はい 10	どちらともいえない 2	いいえ 0	わからない 1		より丁寧な説明をすることに努力いたします。懇談会や交流会等でも時間を作って行けるように進めています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	はい 12	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 1		支援展開を面談などで共有するだけでなく、より丁寧な文面での説明ができる様に努力いたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	はい 8	どちらともいえない 0	いいえ 0	わからない 5		卒業後の進路等については、作業所情報を提供し、方向性の選択肢をアドバイスするようにしています。家族で参加できる行事への参加も引き続き行っていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	はい 11	どちらともいえない 1	いいえ 0	わからない 1		送迎時や面談時に、お子様の状況をお伝えし、お家の様子を聞かせていただくなどして、ともに成長を喜び合える関係を築いていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	はい 9	どちらともいえない 0	いいえ 2	わからない 2		年1回以上は面談の機会を持つようにしています。ただ、機会としては課題があります。お話ししやすい環境作りや関係機関とも連携していきながら進めたいと思います。

者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	2	0	1		支援を進めていく中でとても大切な事項だと思います。共有・共感しあえるつながりとなるような支援を努めています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	0	3	都合が悪く参加できていないので、わからないです。	保護者向けの学習会や交流会・親子イベントを通して、交流機会が設けられるよう今後も計画。実施していきます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1	0	2		今後も子どもや保護者からの相談や苦情に対しては、真摯に向き合い、迅速かつ適切に対応するように、努めていきたいと思っています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1	0	2		口頭での伝達では、聞き取り間違いが起こることも想定されるので、お便りやメールなどで、文章を残すように配慮して、伝達するよう努めています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	2		活動の様子をお便りにて定期的に発行しています。また、この評価表の結果は、桃郷ホームページで公表されています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	1		個人情報の取扱いについては、最重要課題として、引き続き取り組んでいます。
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	1	2		周知徹底するよう努めています。各種マニュアルに沿って、特に緊急時・感染症対応、災害対応についてのお知らせは今後も定期的に発信していきます。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	4		訓練の実施については、子どもたちの目線に合わせて計画していきます。月1回の訓練にも様々な災害を想定した計画を今後も続けていきます。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	0	2		安全対策として、防犯対策や防犯カメラの設置等の施設面での強化を進めています。防犯対策でも今後は講習会や研修会を実施して行く予定です。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	0	3		緊急時や事故発生時には職員が複数体制で子どもへの対応と保護者や関係機関への連絡対応を進めていく様にしています。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	11	1	0	1		将来に向けての自信をつけてもらえる場として色々な経験ができる場・放課後時間として充実できる場・落ち着ける場としての青空として今後も努めています。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1	0	1	毎日行きたいと言うほど楽しみにしています。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	11	1	0	1	いつもありがとうございます。	環境面や支援体制での課題に対して、様々な方からのご意見を聞き、安全・安心・心地の良い居場所・将来に向けて自信に繋げられる場所となるように進めています。

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス 青空				公表日	2025年1月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	集団活動や個々の活動に応じて、パーテーションを使用し、グループ毎の活動が展開できるようにしています		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	指定基準を遵守しながら、利用する児童の状況に応じて職員の加配を適時行っています		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	安全、安心して過ごせるように危険となりうる対象物を置かないようにしています		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	こどもたち自身で片付け・活動道具の準備等がスムーズに行えるような環境（設備・備品）の配置を行っています		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	静養室を設けています。状況に応じて落ち着ける部屋として活用しています。	複数人での個別対応として、静養室や事務室を使用する場合があるが、安全面において事務室ではなく他の部屋や空間の確保と工夫が必要である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	活動開始前の打ち合わせでは子どもの様子を踏まえた今後の支援の共通理解を持てるような時間作りを行っています。	より時間をかけて様々な事案を協議できる会議の確保がひとつある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	年1回の評価表の実施と課題点の把握だけでなく日頃からの保護者からの声を職員全員で共有しながら進めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々の打ち合わせでは職員個々の意見を発信できるような時間づくりを行っています。	機会は設けているが、具体的な実現に向けての動きが弱い。優先順位も考えながら、業務改善を進めていく必要がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	法人内での他事業所職員同士が参画する会議等で協議やご意見を頂きながら、業務改善に努めています。	法人外による外部評価は実施しておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	積極的に法人研修には参加しています。	法人外で開催している研修会の情報を共有し、支援の質を高めていくよう、研修受講を進めていきます。	
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	6	近日中に公表できるように準備しております。	今後は支援プログラムを活かしながら、様々な活動づくりや子どもたちの居心地の良い居場所になれる事業所づくりを行っていきます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	保護者面談や関係機関とも連携し、その中でアセスメントを行っています。合わせて事業所での子どもの様子も踏まながら、支援計画の作成を行っております。	主に、相談支援専門員や保護者との情報共有になっている。状況に応じて、医療機関や他の公共機関からの情報共有も積極的に行い、より丁寧なアセスメントを実施していくたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	計画の作成は、全職員が参画できるように、協議会議を設けています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	0	6	モニタリングとして振り返りや現状の様子、次への目標を職員同士が共有できるようにしています。	その都度、情報の共有は実施しているが、作成した計画書の内容とは異なる場合が多い、細かな支援計画の見直しと計画に基づく支援づくりを行っていきたい。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0	6	日々の様子を支援記録として記録しています。また子どもの行動の変化に対して情報共有しています。	普段の様子に対して標準化されたアセスメントとしては未実施です。まずは支援記録やアセスメントシートをより活用しながら、細やかな子どもの変化に対する支援方法を作つて行きたいと思います。	

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	今年度より支援計画の書式を変更し、左記記載のより細やかで具体的な支援計画を作成できるように進めています。	ガイドラインの内容を職員全員が周知し、様々な視点からの支援ができるように、周知していく必要がある。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	全職員が参画し、子どもたちの思いを優先しながら、活動内容を進めています。	支援プログラムや支援計画も考慮しながら、子どもたちのやりたい事の実現に対しての支援をこれからも続けていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	ガイドラインに沿って、様々な経験や体験ができるように活動内容を作っています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団活動時間。個別活動時間としてそれぞれの目的や支援内容を考えて活動を展開しています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	左記の内容と合わせて、送迎（車内）での様子や対応も共有できるような打ち合わせを行います。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	出来る限り、その日の出来事は情報共有できるようにしています。	終了直後の全員での共有は難しいが、翌日には共有したり、記録を残しながら、振り返りを行っている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	保護者向けの提供記録と職員用の支援記録を使って活用しています。	活動時間内での保護者向けの提供記録が、どうしても大まかな活動記入しかできていない現状。帰りの送迎時で様子をお伝えする等して対応している。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	原則半年ごとに実施していますが、日々の様子に対しての情報共有や支援方法の変更等はその都度協議しています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	一つの活動内容（テーマ）に様々な要因（基本活動となるもの）が組み合わさるような活動になるように支援展開を行っています。	集団活動としては、一定の計画の中に組み合わせているが、個別活動（自由活動）では現状弱い。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動内容は基本子どもたちのやりたいことを中心に、また様々な活動内容を選び、自分で決めていけるような展開を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	基本として、児童発達支援管理責任者の資格を持った職員が、参画しています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	現在は、相談支援専門員が中心となって、関係機関との連携の一員として体制を作っています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	気になること等があれば事業所からも情報の共有や声をかけさせていただく様にしています。	学校だけでなく、保護者の方からもその都度情報を頂くようにしています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	現在は新規利用時の時点で就学中の子どもたちが多いので、定期的には実施していませんが、何かあれば共有できるような体制作りを行っています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	現在は、情報提供がある場合、事業所からとして提供する時間を設けています。	相談支援専門員とも連携して、事業所での様子が伝わるようにしています。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	同地域に法人内の児童発達支援センターがあり、共同会議などで情報の共有を行っています。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	6	事業所単独としての交流活動はできていなない。	外部でのイベントに参加させていただき、同年代の子どもたちとの交流できる機会を作つてきたいと思います。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	担当者を設けて、参加させていただいている。	

	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	主に送迎（帰り）時に様子をお伝えする形ですが、面談や状況によってはお電話やメールなどで情報の共有ができるようにしています。	丁寧な伝えあいができないことが多い。面談や書面等様々な情報共有ができるツールを使いながら、共通理解を進めていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	親子イベントや保護者学習会・交流会の機会を設けています。	子ども、その家族にとってより前向きになれる支援力に関しては不十分な点が多い。今後家族支援という観点から職員研修を行う必要がある。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	0	6	年1回の交流会（説明会）や契約更新時の書面にて説明と記載をしています。	細やかな説明という点では不十分です。わかりやすく、丁寧に伝えていけるような機会が必要であると思います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	保護者面談等での思いを伺いながら、また日頃の子どもたちの思いも踏まえて計画の作成を進めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	計画書の内容を確認していただき、ご質問や気になる点があれば、再度計画の内容を変更した利するなど、互いに理解しあえる計画になるよう作成しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて、専門性の高い部署と連携し助言を頂き、アドバイスをいただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者交流会や学習会を開催し、交流の機会を設けております。親子イベントでは、きょうだい参加も可能とし、幅広い交流ができる様にしています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	法人として、苦情解決に関するマニュアルと担当者を設置し、適切な対応ができるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月1回のお便り・行事予定を発行し、活動の様子を発信しています。また法人全体の広報誌も発行しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	情報管理については、適切に対応しています。	今後もインターネットやPCクラウドでの管理体制にも関係機関や業者とも連携して、情報漏洩がないように体制作りが必要だと思います。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	様々な視点や手順を考慮しながら、伝えつつ、文章としても残しながら、配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	今年度は近隣地域との交流行事が出来ていない。	別（少し離れている）地域の方を講師としてしめ縄作りや書道教室を定期的に行っています。地域住民の方と交流できる活動は行う予定です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	定期的に訓練を実施しながら、課題点や様々な事態を想定した職員の動きを確認（訓練）しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	安全な場所を事業所だけでなく、近隣の場所でもどこが可能か、子どもとの散策活動（避難訓練）でも意識した活動を取り入れています。	防災備品が不十分な点がある。特に備蓄する量に関しては、もう少し増やす必要がある。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	保護者から提出して頂いたサポートデータをもとに状況の確認をしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	6	アレルギー対応については保護者からの聞き取りをもとに対応しています。医師からの指示書での対応は実施しておりません。	保護者とも協議・連携しながら、必要に応じて医師との連携や指示書をもとにした対応を進めています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	6	マニュアルをもとに訓練は防災・防犯という形で実施しているが、研修や講習会への参加はできていない。	「未然に防ぐ」という観点からも、外部からの建物診断や防犯上の設備確認、適切な防犯行動がとれる講習会への参加が必要である。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	6	マニュアルに沿っての訓練は実施しているが、周知（情報発信）は出来ていない。	広報紙からの情報発信や、緊急時の事業所対応についての伝達、お便りを作成していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット事例として記録し対策を進めるようになります。	

	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年1回以上の研修を行うように実施しています。	やつていいという思いで研修を受けずに、様々な事例から人権という観点も踏まえながら、今後も受講し、支援を行っていきます。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0	6	支援計画書には記載していますが、丁寧な説明や文章での説明をより丁寧に伝える必要がある。	危険と感じた場合は行動の抑止を行うというルールを設けているが、具体的な事例や対応についての文章を（マニュアル）作成して周知するように進めていきたい。